

日々の生活の中で

副会長 中城 重光 (38期)

主な担当業務
関弁連, 裁判員センター, 民暴, 市民窓口,
公設事務所, 非弁, 刑事弁護, 秘密保
全法, 子どもの人権, 合同図書館, 個人
情報保護, 三会多摩支部



1. 南極ツアー

本年1月, 南極に行きました。日本から, 乗り継ぎ時間を含めておおよそ38時間で南極半島まで行けます。

チリ共和国の最南端にあるプンタ・アレーナスから南極ツアーに参加しました。そこから南極半島のキングジョージ島までチャーター機で行き, その先は船で南極半島を周遊するという旅でした。

南極の飛行場は, 航空設備が十分ではなく, パイロットの目視に頼るといって有視界飛行であり, 滑走路も舗装されていませんでした。

2. ペンギンの生活

南極には, 多数のペンギンが棲息しています。コロニーを作り, そこには両親と子どもの核家族が, 真夏の日差しを存分に浴びながら, 佇立して生活しています。彼らは, 巣らしきものも作らずに子育てをしてみました。まさに立錐の余地がないという濃密度のため, 境界争いが凄まじく, 数センチ先の隣家と, クチバシどうして争っている光景が多かったです。

青い空, 透き通った青い海, そこに雪原が広がっています。雪山を登っていくと, 高い岩場で暮らしているペンギンたちに出会えます。彼らは, 長い雪道を海までよちよちと下り, 腹に魚を貯えて急坂を登って戻ってくるのです。その所要時間は数時間にのぼります。そして, 立ち通しで, 子どもにえさを与え, 腹の羽毛の中に子どもを入れて暖めていました。

南極の岩場は, 群棲するペンギンたちのその営みの繰り返しで, 日々が過ぎていました。

3. 我が生活

本年4月から, 東京弁護士会の理事者室に副会長として詰めています。

理事者会や担当する各種委員会に出席する一方, 多数の稟議書に目を通し, 色々な団体等との各種懇談会・懇親会に出席しながら飲食を繰り返すというような毎日を過ごしています。

これまでの法律事務中心の生活から一転した新世界での業務です。ペンギンの単調な日々とは異なり, 慌ただしさの中にもやり甲斐のある仕事に就いています。

4. これからの日々

南極で見てきたペンギンの生活は, 単調のように思いました。

しかし, ある意味, それは人間の営みも同じではないかという思いもしました。

日々の暮らしを大切に, 精一杯力の限りに生きることの大切さを学んだような気がします。

また, 氷山や雪が残っているとはいえ, 最高気温が8度くらいと暖かい気候の中で, ペンギンたちはのびのびしているように見えました。

しかし, 子育てが終わる頃には, 沖合数キロメートル先まで凍り付き, 荒れ狂うブリザードの極寒が待ち受けています。そのような中で堪え忍ぶペンギンの姿を想像するだけで, 自分の甘い人生に恥じ入ります。

高くはなくとも目標を持って, 日々精進しながら明るく楽しく生活していきたいと考えています。

どうぞ, 今後ともよろしく願い申し上げます。

*表紙裏にカラー写真掲載